

ご機嫌なイキイキ店舗を作ろう!

職場でのピアサポート

押金店長直伝 イキイキ店舗を作るポイント

- ◆話しかけやすい店づくり。店頭のディスプレイを工夫。足を止めるお客様に積極的に声を掛ける。
- ◆商品知識は正確に、自信をもって伝える。メガネという専門性のある商品を丁寧に説明。
- ◆スタッフ自身が心身とも余裕を持つ。体調管理に努める。

ジャスミンからひと言

イキイキ店舗を作るポイントについて、店長の意見をまとめました。

す。検眼などに最低1時間はかかるので常時4人は必要なんです。

押金さんの店長歴はどのくらいですか？

押金 入社以来、いろいろな支店に勤務しました。店長になったのは、恵比寿三越店が最初です。店長歴は3年ですが横浜ジョイナス店には昨年10月に来たばかり。この店ではまだ新人です(笑)。

老舗メガネ専門店として、接客対応には定評があります。

押金 「modo」や「nine」などのイワキだけが取り扱っている商品もあり、そのブランドのファンという方も多いられています。格安なメガネショップと同じ商品を売っているわけではありません。商品には自信がありますから、なぜイワキのメガネはこのプライスなのかをしつかり説明できることがとても大事だと考えています。

店長として今後の抱負をお聞かせください。

店長 新人の頃、私は人と話すことが得意ではなくでした。最初の一本が売れるまで3カ月もかかりました。とにかく商品について調べて、その特長をどんどんお客様へ語るよう心掛けました。不思議なことにお客様も話してくださるようになりました。接客の時間が楽しくなってきました。メガネを作るために計測している時間はお客様と自分だけの空間です。商品のことはすべて自信をもつて語れるようになりました。今もお客様が居心地悪くならないよう、楽しいと思つていただけの時間になるよう気を付けています。

横浜エリアにあるイワキの3店舗の中で横浜ジョイナス店はいちばん新しい店です。人通りが多いという利点を生かして、今までイワキを知らなかつた方々にも「横浜西口ならイワキ」と思つてもらえるように、新規のお客様もどんどん増やしていくみたいです。

イワキの良さをどうやって伝えていくか。私たちが丁寧に説明することで、お客様からもいろいろお話をうかがえます。そんな時間を丁寧に過ごしていただきたいと思っています。お客様との距離感を大切に、楽しく話しやすい雰囲気の店にしていきたいですね。



イキイキ店舗訪問は今回で14回目。
メガネのイワキ「横浜ジョイナス店」を訪ね、押金美穂店長にお話を伺いました。

イキイキ店舗訪問

株式会社イワキ
横浜ジョイナス店



押金店長(中央)と横浜ジョイナス店スタッフのお二人

お店の前をたくさん的人が行き交うとしても立地の良い場所です。

押金 通り抜けの通路に面しているのでたしかに通行量は多いですね。以前はダイヤモンド地下街だったのですが、2年前に耐震工事が行われて横浜ジョイナスに統合されました。

ご覧の通りコンパクトなつくりで、奥行きもありません。「ちょっと聞きたいんだけど」「教えてくれませんか」と気軽に声をかけてくださるお客様も多いですね。メンバーがアイキャッチになるように小物をうまく置いてくれているので、足を止められた方がいらしたら、積極的に話しかけるように皆で心掛けています。

スタッフは男女3人ずつ。全員ベテラン社員です。店がコンパクトなので少し贅沢かなとは思いますが、メガネは何よりも丁寧な説明が大切な商品で

それが特長だと思います。私たちとじつくり相談してメガネを作りたいお客様が多いので、検査も時間をかけてきつちりやります。

横浜の店内では時間がゆったりと流れている。私たちとじつくり相談してメガネを作りたいお客様が多いので、検査も時間をかけてきつちりやります。